

# 令和4年度 鳥取市共通学力調査 【中1義7】 調査結果概要

## ■本調査の目的

児童生徒の学習内容の定着度や学力の伸びを客観的に把握・分析することで、教育施策や指導の工夫改善を図り、児童生徒一人一人の学力を確実に伸ばす教育を推進します。

## ■平均点

■ +1.1点以上 ■ -1.1点以下

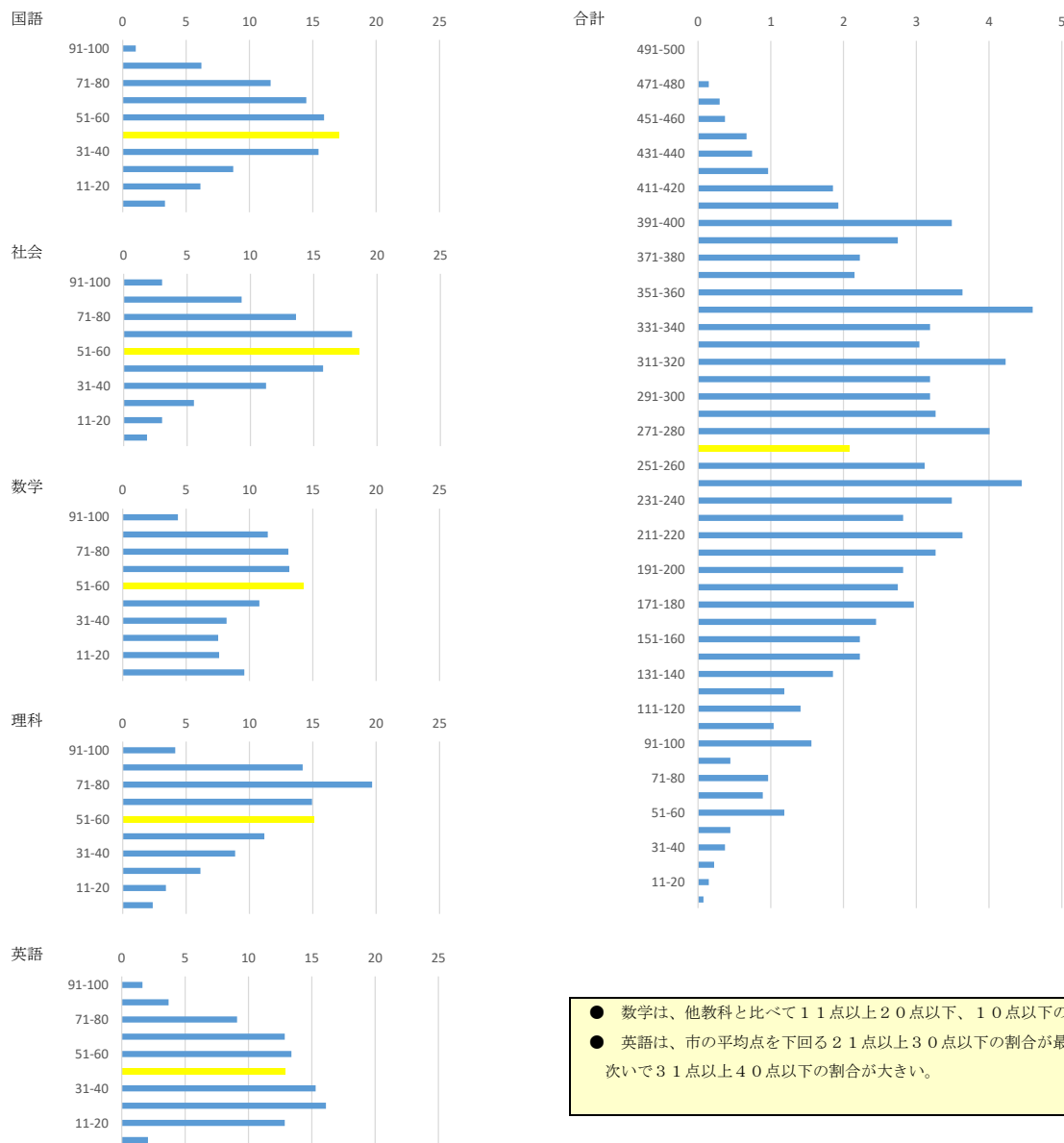
	令和4年度		
	市中1	全国中1	全国との比較
国語	50.0	51.9	-1.9
社会	56.4	56.6	-0.2
数学	51.8	51.9	-0.1
理科	59.6	60.1	-0.5
英語	45.0	48.2	-3.2
合計(※)	263.4	268.7	-5.3

(※) 全教科を受検した生徒の平均点をあわせており、各教科の平均点の合計と差異が生じる場合があります。

- 国語、英語は全国の前年を下回っている。社会、数学、理科はほぼ同じである。

## ■得点分布 (%)

■ : 市の平均点



- 数学は、他教科と比べて11点以上20点以下、10点以下の割合が大きい。
- 英語は、市の平均点を下回る21点以上30点以下の割合が最も大きく、次いで31点以上40点以下の割合が大きい。

■カテゴリー別正答率（％）

+1.1ポイント以上

-1.1ポイント以下

国語	基礎・活用		領域				観点	
	基礎	活用	書くこと	読むこと	言語事項		知識・技能	思考・判断・表現
市	52.7	38.5	35.0	51.1	56.0		56.0	48.4
全国	53.7	36.6	32.9	52.2	54.8		54.8	49.0
全国との比較（±ポイント）	-1.0	1.9	2.1	-1.1	1.2		1.2	-0.6

- 「基礎」は全国の前答率とほぼ同じである。「活用」は1.9ポイント上回っている。
- 「書くこと」「言語事項」は全国の前答率を上回っている。「読むこと」は1.1ポイント下回っている。
- 「知識・技能」は全国の前答率を1.2ポイント上回っている。「思考・判断・表現」はほぼ同じである。

社会	基礎・活用		領域				観点	
	基礎	活用	地理	歴史			知識・技能	思考・判断・表現
市	58.0	46.8	49.4	69.9			57.6	46.1
全国	58.5	45.7	49.9	69.4			57.9	45.9
全国との比較（±ポイント）	-0.5	1.1	-0.5	0.5			-0.3	0.2

- 「基礎」は全国の前答率とほぼ同じである。「活用」は1.1ポイント上回っている。
- 「地理」「歴史」ともに全国の前答率とほぼ同じである。
- 「知識・技能」「思考・判断・表現」ともに全国の前答率とほぼ同じである。

数学	基礎・活用		領域				観点	
	基礎	活用	数と式				知識・技能	思考・判断・表現
市	54.9	43.0	51.4				54.8	45.0
全国	55.8	43.3	52.1				55.5	45.6
全国との比較（±ポイント）	-0.9	-0.3	-0.7				-0.7	-0.6

- 「基礎」「活用」ともに全国の前答率とほぼ同じである。
- 「数と式」は全国の前答率とほぼ同じである。
- 「知識・技能」「思考・判断・表現」ともに全国の前答率とほぼ同じである。

理科	基礎・活用		領域				観点	
	基礎	活用	化学	生物			知識・技能	思考・判断・表現
市	59.5	58.2	55.6	61.7			66.1	47.6
全国	60.4	56.2	56.9	61.3			66.3	48.0
全国との比較（±ポイント）	-0.9	2.0	-1.3	0.4			-0.2	-0.4

- 「基礎」は全国の前答率とほぼ同じである。「活用」は2.0ポイント上回っている。
- 「化学」は全国の前答率を1.3ポイント下回っている。「生物」はほぼ同じである。
- 「知識・技能」「思考・判断・表現」ともに全国の前答率とほぼ同じである。

英語	基礎・活用		領域				観点	
	基礎	活用	聞く	読む	書く		知識・技能	思考・判断・表現
市	43.9	49.3	67.2	47.6	25.1		45.0	42.9
全国	47.2	54.0	69.9	52.3	27.6		48.2	46.7
全国との比較（±ポイント）	-3.3	-4.7	-2.7	-4.7	-2.5		-3.2	-3.8

- 「基礎」「活用」ともに全国の前答率を下回っている。
- 「聞く」「読む」「書く」のすべて領域で全国の前答率を下回っている。
- 「知識・技能」「思考・判断・表現」ともに全国の前答率を下回っている。

# 令和4年度 鳥取市共通学力調査 【中2義8】 調査結果概要

## ■本調査の目的

児童生徒の学習内容の定着度や学力の伸びを客観的に把握・分析することで、教育施策や指導の工夫改善を図り、児童生徒一人一人の学力を確実に伸ばす教育を推進します。

## ■平均点

+1.1点以上   -1.1点以下  

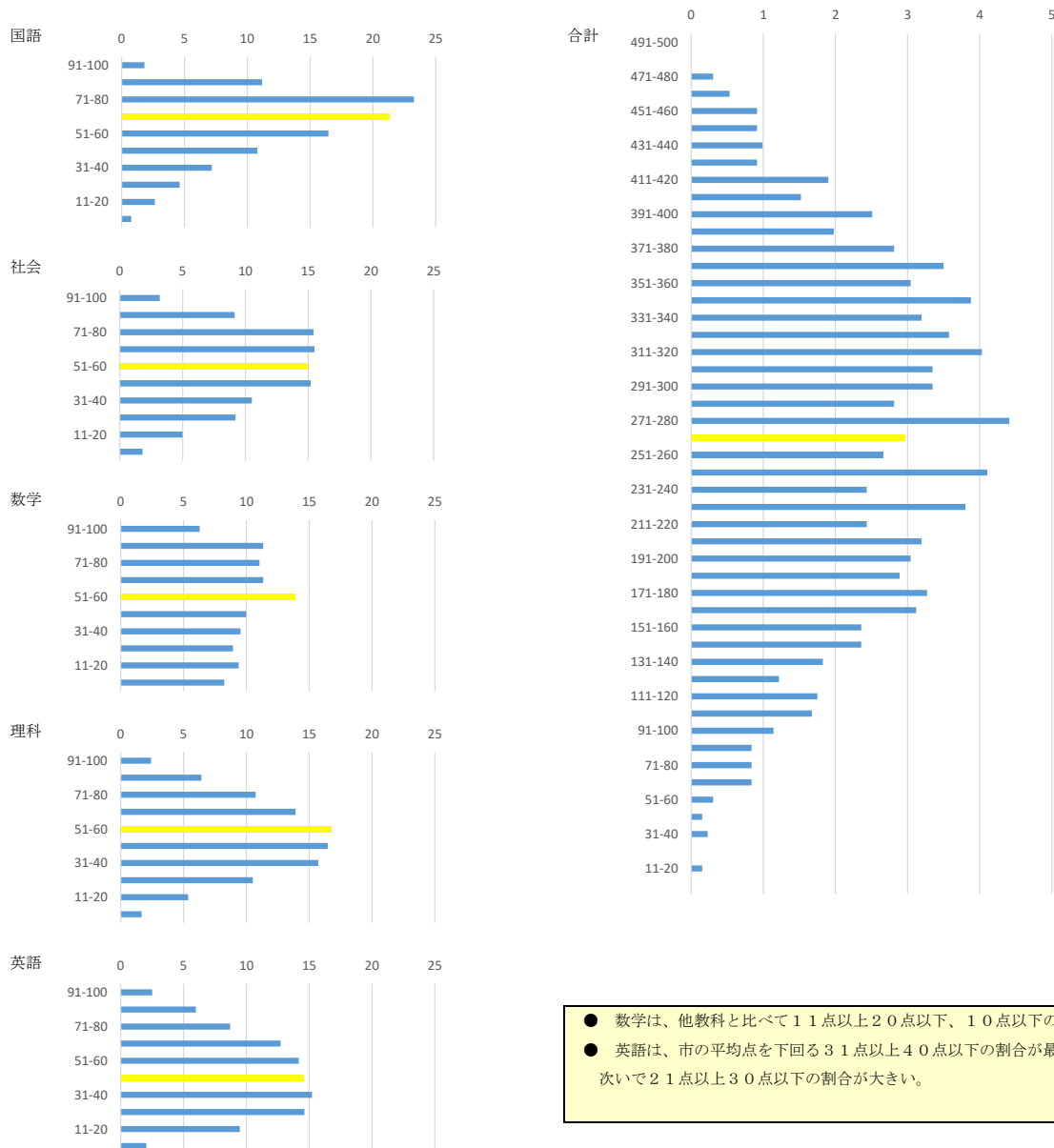
	令和4年度			令和3年度	
	市中2	全国中2	全国との比較	市中1	同一集団の比較
国語	61.0	59.8	1.2	50.4	10.6
社会	54.7	56.4	-1.7	62.8	-8.1
数学	51.3	54.0	-2.7	52.9	-1.6
理科	51.0	51.2	-0.2	53.7	-2.7
英語	47.7	51.4	-3.7	50.4	-2.7
合計(※)	266.3	272.8	-6.5	270.6	-4.3

(※) 全教科を受検した生徒の平均点をあわせており、各教科の平均点の合計と差異が生じる場合があります。

- 国語は全国平均点を1.2点上回っている。社会、数学、英語は下回っている。
- 同一集団の昨年度の平均点と比較すると、国語は10.6点上回っている。社会、数学、理科、英語は下回っている。

## ■得点分布(%)

■ : 市の平均点



- 数学は、他教科と比べて11点以上20点以下、10点以下の割合が大きい。
- 英語は、市の平均点を下回る31点以上40点以下の割合が最も大きく、次いで21点以上30点以下の割合が大きい。

■カテゴリー別正答率 (%)

+1.1ポイント以上

-1.1ポイント以下

国語	基礎・活用		領域				観点	
	基礎	活用	書くこと	読むこと	言語事項		知識・技能	思考・判断・表現
市	63.0	52.1	40.3	59.1	80.0		80.0	56.9
全国	63.1	43.8	28.4	58.7	78.6		78.6	55.1
全国との比較 (±ポイント)	-0.1	8.3	11.9	0.4	1.4		1.4	1.8

- 「基礎」は全国の前答率とほぼ同じである。「活用」は8.3ポイント上回っている。
- 「書くこと」「言語事項」は全国の前答率を上回っている。「読むこと」はほぼ同じである。
- 「知識・技能」「思考・判断・表現」ともに全国の前答率を上回っている。

社会	基礎・活用		領域				観点	
	基礎	活用	地理	歴史			知識・技能	思考・判断・表現
市	55.2	50.2	63.9	44.7			55.6	47.8
全国	57.7	50.7	66.6	46.4			57.9	49.4
全国との比較 (±ポイント)	-2.5	-0.5	-2.7	-1.7			-2.3	-1.6

- 「基礎」は全国の前答率を2.5ポイント下回っている。「活用」はほぼ同じである。
- 「地理」「歴史」ともに全国の前答率を下回っている。
- 「知識・技能」「思考・判断・表現」ともに全国の前答率を下回っている。

数学	基礎・活用		領域				観点	
	基礎	活用	数と式	図形	関数	データの活用	知識・技能	思考・判断・表現
市	54.1	38.4	57.8	28.5	51.8	38.4	60.4	36.4
全国	56.7	38.2	59.9	32.0	55.8	38.2	62.9	37.8
全国との比較 (±ポイント)	-2.6	0.2	-2.1	-3.5	-4.0	0.2	-2.5	-1.4

- 「基礎」は全国の前答率を2.6ポイント下回っている。「活用」はほぼ同じである。
- 「数と式」「図形」「関数」は全国の前答率を下回っている。「データの活用」はほぼ同じである。
- 「知識・技能」「思考・判断・表現」ともに全国の前答率を下回っている。

理科	基礎・活用		領域				観点	
	基礎	活用	物理	化学	生物	地学	知識・技能	思考・判断・表現
市	53.9	37.4	38.1	53.2	64.0	42.6	56.1	42.1
全国	56.0	35.8	38.3	59.6	63.7	47.8	58.3	42.1
全国との比較 (±ポイント)	-2.1	1.6	-0.2	-6.4	0.3	-5.2	-2.2	0.0

- 「基礎」は全国の前答率を2.1ポイント下回っている。「活用」は1.6ポイント上回っている。
- 「物理」「生物」は全国の前答率とほぼ同じである。「化学」「地学」は下回っている。
- 「知識・技能」は全国の前答率を2.2ポイント下回っている。「思考・判断・表現」はほぼ同じである。

英語	基礎・活用		領域				観点	
	基礎	活用	聞く	読む	書く		知識・技能	思考・判断・表現
市	46.4	52.4	66.6	52.8	29.1		46.4	49.7
全国	50.6	54.2	69.2	56.1	34.2		50.8	51.9
全国との比較 (±ポイント)	-4.2	-1.8	-2.6	-3.3	-5.1		-4.4	-2.2

- 「基礎」「活用」ともに全国の前答率を下回っている。
- 「聞く」「読む」「書く」のすべての領域で全国の前答率を下回っている。
- 「知識・技能」「思考・判断・表現」ともに全国の前答率を下回っている。

# 令和4年度 鳥取市共通学力調査 【中3義9】 調査結果概要

## ■本調査の目的

児童生徒の学習内容の定着度や学力の伸びを客観的に把握・分析することで、教育施策や指導の工夫改善を図り、児童生徒一人一人の学力を確実に伸ばす教育を推進します。

## ■平均点

■ +1.1点以上 ■ -1.1点以下

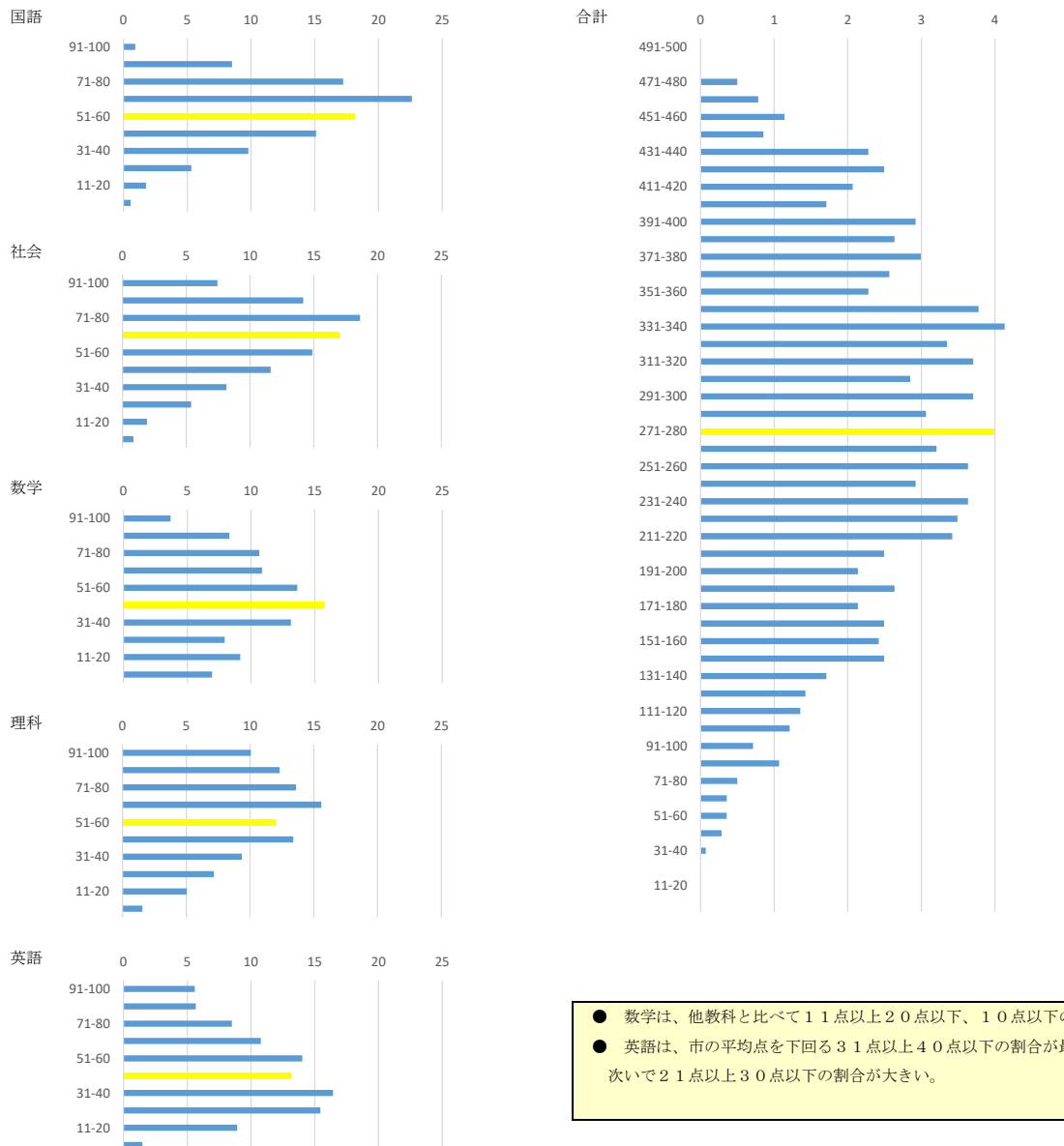
	令和4年度			令和3年度		令和2年度	
	市中3	全国中3	全国との比較	市中2	同一集団の比較	市中1	同一集団の比較
国語	58.1	57.9	0.2	47.3	10.8	46.0	12.1
社会	62.6	61.3	1.3	54.2	8.4	62.7	-0.1
数学	49.0	48.2	0.8	51.3	-2.3	51.5	-2.5
理科	59.4	56.2	3.2	57.9	1.5	65.4	-6.0
英語	48.7	51.5	-2.8	43.2	5.5	49.6	-0.9
合計(※)	278.3	275.1	3.2	254.3	24.0	275.5	2.8

(※) 全教科を受検した生徒の平均点をあわせており、各教科の平均点の合計と差異が生じる場合があります。

- 社会、理科は全国の平均点を上回っている。英語は2.8点下回っている。
- 同一集団の昨年度の平均点と比較すると、国語、社会、理科、英語は上回っている。数学は2.3点下回っている。

## ■得点分布 (%)

■ : 市の平均点



- 数学は、他教科と比べて11点以上20点以下、10点以下の割合が大きい。
- 英語は、市の平均点を下回る31点以上40点以下の割合が最も大きく、次いで21点以上30点以下の割合が大きい。

■カテゴリー別正答率(%)

+1.1ポイント以上

-1.1ポイント以下

国語	基礎・活用		領域				観点	
	基礎	活用	書くこと	読むこと	言語事項		知識・技能	思考・判断・表現
市	59.2	51.7	56.5	50.8	82.6		73.9	52.2
全国	56.8	51.8	55.7	48.5	80.6		71.8	50.5
全国との比較(±ポイント)	2.4	-0.1	0.8	2.3	2.0		2.1	1.7

- 「基礎」は全国の前答率を2.4ポイント上回っている。「活用」はほぼ同じである。
- 「書くこと」は全国の前答率とほぼ同じである。「読むこと」「言語事項」は上回っている。
- 「知識・技能」「思考・判断・表現」ともに全国の前答率を上回っている。

社会	基礎・活用		領域			観点		
	基礎	活用	地理	歴史	公民		知識・技能	思考・判断・表現
市	61.5	64.2	61.8	54.8	70.4		65.0	50.9
全国	60.8	59.3	57.7	56.0	68.7		63.2	49.5
全国との比較(±ポイント)	0.7	4.9	4.1	-1.2	1.7		1.8	1.4

- 「基礎」は全国の前答率とほぼ同じである。「活用」は4.9ポイント上回っている。
- 「地理」「公民」は全国の前答率を上回っている。「歴史」は1.2ポイント下回っている。
- 「知識・技能」「思考・判断・表現」ともに全国の前答率を上回っている。

数学	基礎・活用		領域				観点		
	基礎	活用	数と式	図形	関数	データの活用		知識・技能	思考・判断・表現
市	53.0	30.4	62.2	25.0	30.4	26.0		67.4	28.0
全国	50.3	30.2	59.1	24.5	30.2	23.0		64.3	26.7
全国との比較(±ポイント)	2.7	0.2	3.1	0.5	0.2	3.0		3.1	1.3

- 「基礎」は全国の前答率を2.7ポイント上回っている。「活用」はほぼ同じである。
- 「数と式」「データの活用」は全国の前答率を上回っている。「図形」「関数」はほぼ同じである。
- 「知識・技能」「思考・判断・表現」ともに全国の前答率を上回っている。

理科	基礎・活用		領域				観点		
	基礎	活用	物理	化学	生物	地学		知識・技能	思考・判断・表現
市	61.9	47.0	50.3	59.7	67.7	63.0		62.8	50.3
全国	61.0	40.9	46.1	61.6	67.2	57.6		61.7	46.3
全国との比較(±ポイント)	0.9	6.1	4.2	-1.9	0.5	5.4		1.1	4.0

- 「基礎」は全国の前答率とほぼ同じである。「活用」は6.1ポイント上回っている。
- 「物理」「地学」は全国の前答率を上回っている。「化学」は1.9ポイント下回っている。
- 「知識・技能」「思考・判断・表現」ともに全国の前答率を上回っている。

英語	基礎・活用		領域				観点	
	基礎	活用	聞く	読む	書く		知識・技能	思考・判断・表現
市	46.8	53.6	63.3	43.1	45.4		43.0	58.9
全国	50.4	52.7	66.4	44.8	49.3		46.7	59.3
全国との比較(±ポイント)	-3.6	0.9	-3.1	-1.7	-3.9		-3.7	-0.4

- 「基礎」は全国の前答率を3.6ポイント下回っている。「活用」はほぼ同じである。
- 「聞く」「読む」「書く」のすべての領域で全国の前答率を下回っている。
- 「知識・技能」は全国の前答率を3.7ポイント下回っている。「思考・判断・表現」はほぼ同じである。